

2022年度

## 沖縄陸上競技協会審判講習会

### 審判員クリニック（競技規則確認テスト）

- ① 回答は〔 〕に記入すること。（記述問題は□に記入すること）
- ② 2022年度日本陸上競技連盟競技規則に基づいて回答すること。
- ③ 「陸上競技ルールブック」と「2022年度審判講習会資料」を参照にしながら解答すること。  
（2021年度修改正以外からも出題されている）

氏名

---

所属

---

■正しいものに○、間違っているものに×、どちらでもないは△を記入しなさい。

- 1 競技結果に抗議(口頭)がある場合、成績正式発表から30分以内に行われなければならない。 [ ]
- 2 抗議の最終裁定は、審判長が行う。 [ ]
- 3 競技会での撮影は事前に申請された者のみで、インフィールドでは、特別に認められた、グレービブスのカメラマンのみである。 [ ]
- 4 リレー競技において、一度提出したオーダーは、まだ締切時間前だとしても、差し替えできない。 [ ]
- 5 リレー競技において、あるクラブの失格となったAチームのメンバーを勝ち上がった同クラブのBチームの決勝メンバーに加えることはできる。 [ ]
- 6 リレー競技準決勝において、抗議が認められ救済されたAチームが再レースの結果、決勝進出となったが、タイムレース8位だったBチームが決勝進出を逃したことからBチームから抗議があったが認めなかった。 [ ]
- 7 走り幅跳び競技において、A選手、B選手は3回ファールとなったが出場者が7名であったため4回目以降も試技を認めた。 [ ]
- 8 10名出場の円盤投げにおいて、有効試技が記録された6名の選手のみで、4回目以降の試技を行った。(4名は3回ファール) [ ]
- 9 400mHにおいて曲走路の内側の線を1度踏み超えたので失格とした。 [ ]
- 10 800mの残り150m付近において1回、残り50m付近で縁石を1回踏み超えたので合計2回なので失格とした。 [ ]